

北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所

記者発表資料

配布日時

平成29年7月20日

平成28年度完成優良工事等の事務所長表彰について
(お知らせ)

優良工事等の表彰は、北陸地方整備局管内の工事等に関し、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

また、港湾空港工事の品質確保にあたり、直接施工に従事する建設技能者の果たす役割が重要であることから、工事の品質確保や向上に貢献した優良な建設技能者を表彰するものです。

新潟港湾・空港整備事務所では、平成28年度完成の優良工事等について別紙のとおり決定いたしました。

なお、事務所長表彰式を下記により執り行いますので、お知らせします。

記

1. 日時 平成29年7月21日(金) 13:30～
2. 場所 新潟市中央区入船町4丁目3778番地
北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所 会議室(3階)

発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟市政記者クラブ
専門紙

問い合わせ先

北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所
副所長 白井 正生
TEL 025-222-6111
FAX 025-227-1344

平成28年度完成 優良工事等事務所長表彰一覧

[優良工事] (P.3)

番号	受賞者名	工事名
1	東洋・みらい特定建設工事共同企業体	新潟港（西港地区） 航路泊地付帯施設護岸築造工事（その1）

[優良建設技術者（工事）] (P.4)

番号	受賞者名	工事名
1	五洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体 監理技術者 横田 武	新潟港（西港地区） 航路泊地付帯施設護岸築造工事（その2）

[優良建設技術者（委託業務）] (P.5)

番号	受賞者名	工事名
1	株式会社日本港湾コンサルタント 北陸事務所 管理技術者 柏原 裕彦	新潟港（西港地区） 航路泊地付帯施設排砂管設置実施設計

[優良工事における下請負者表彰]

番号	受賞者名	専門工事業	元請負者名	優良工事名
1	有限会社宮澤建設工業	とび・土工工事業	東洋建設株式会社 北陸支店	新潟港（西港地区）航路泊地付帯施設上部工事
2	高橋秋和建设株式会社	とび・土工工事業		
3	株式会社川武潜水興業	とび・土工工事業	東洋・みらい 特定建設工事 共同企業体	新潟港（西港地区）航路泊地付帯施設護岸築造工事（その1）
4	永光建設株式会社	とび・土工工事業		

[優良工事における下請負者の専任技術者表彰]

番号	受賞者名 (下請負者名)	専門工事業	元請負者名	優良工事名
1	傅 貴志 有限会社宮澤建設工業	とび・土工工事業	東洋建設株式会社 北陸支店	新潟港（西港地区）航路泊地付帯施設上部工事
2	村田 伊智朗 高橋秋和建設株式会社	とび・土工工事業		
3	田崎 英徳 株式会社川武潜水興業	とび・土工工事業	東洋・みらい 特定建設工事 共同企業体	新潟港（西港地区）航路泊地付帯施設護岸築造工事（その1）
4	佐藤 裕 永光建設株式会社	とび・土工工事業		

[建設技能者表彰]

受賞者名 (所属会社)	工 種 (職 種)	工 事 名 (元請負者名)
渡邊 幸司 (新潟建工株式会社)	排砂管設置工 (普通作業員)	新潟港（西港地区） 航路泊地付帯施設排砂管敷設工事 (株式会社本間組)
神田 真明 (新潟建工株式会社)	排砂管設置工 (普通作業員)	
市村 真澄 (株式会社中元組)	消波工 (作業船オペレーター)	新潟港（西港地区） 航路泊地付帯施設空港護岸撤去試験工事 (株式会社加賀田組)

平成28年度完成 優良工事〔事務所長表彰〕

番号

1

受注者	東洋・みらい特定建設工事共同企業体 代表者 東洋建設株式会社 北陸支店	事務所名	新潟港湾・空港整備事務所
	支店長 伊東 史朗	工期	平成28年 4月21日 ～ 平成28年12月22日
	石川県金沢市畝田東3丁目87番地	請負金額 (千円)	647,136 千円
工事名	新潟港(西港地区)航路泊地付帯施設 護岸築造工事(その1)	工事場所	新潟市東区船江町地先
工事概要	<p>本工事は、新潟港(西港地区)において、浚渫土砂を受け入れるための護岸を築造するものである。</p> <p>基礎工 100m(基礎捨石 9, 245m³) 堤体工 ケーソン据付 4函(1, 397t/函) 根固工 根固方塊据付 50個(58. 2t/個) 被覆工 被覆ブロック乱積(4t型) 1, 941個 上部工 100m(コンクリート 1, 218m³) 消波工 消波ブロック乱積(40t型) 520個 裏込工 100m(裏込石 4, 080m³) 付工 1式</p>		
選定理由	<p>本工事は、新潟港(西港地区)の港湾機能を維持するため、毎年実施する浚渫の土砂を受け入れるための護岸を築造する工事である。本工事は狭隘な海域での他工事との同時海上作業(他工事最大4件)のため、連絡協議会を設けて統括者として作業内容や作業船の配置の検討・調整を行うとともに、新潟空港に近接していることから制限表面(高さ制限)に抵触しないよう、クレーンブームを工夫した。また、ケーソンや消波ブロック等の運搬に当たっては、事前に海事関係者へ連絡または調整し、工事工程の進捗を図るとともに船舶衝突等の危険を回避するなど、この現場条件を踏まえ適切に対応し、最新の技術を採用するなど作業の安全性・効率性を図り、工期限内に無事故で工事を完成させた。</p>		

平成28年度完成 優良建設技術者（工事）〔事務所長表彰〕

番号 1

技術者	横田 武 (監理技術者)	事務所名	新潟港湾・空港整備事務所
		工事名	新潟港(西港地区)航路泊地付帯施設築造工事(その2)
		工事場所	新潟市東区船江町地先
	五洋建設 株式会社 新潟市中央区東大通1丁目2番25号	工期	平成28年4月21日 ～ 平成28年12月22日
		受注金額	659,722 千円
工事概要	<p>本工事は、新潟港(西港地区)において、浚渫土砂を受け入れるための護岸を築造するものである。</p> <p>基礎工 100m(基礎捨石 9,515m³) 堤体工 ケーソン据付 4函(1,397t/函) 根固工 根固方塊据付 50個(52.9t/個) 被覆工 被覆ブロック乱積(4t型) 1,843個 上部工 100m(コンクリート 1,218m³) 消波工 消波ブロック乱積(40t型) 431個 裏込工 100m(裏込石 3,516m³) 付工 1式</p>		
選定理由	<p>本工事の最大の特徴は、狭隘な海域で複数の工事が同時に作業することであり、全体の工程管理・安全管理が重要となるが、これを解決するため、上記技術者は関係受注者により組織された連絡協議会を通じて、日々工程調整を行いつつ、全工程を工期内に無事故で完成させた。また、ケーソンの無人化据付システムの採用や高輝度LED搭載水中カメラを採用することにより「見える化」を図り、施工の確実性や安全性を向上させ、無事故で工事を完成させた。</p>		

平成28年度完成 優良建設技術者（業務）〔事務所長表彰〕

番号	1
----	---

技術者	柏原 裕彦 (管理技術者)	事務所名	新潟港湾・空港整備事務所
		業務名	新潟港(西港地区)航路泊地付帯施設排砂管設置実施設計
	株式会社 日本港湾コンサルタント北陸事務所 新潟市中央区東大通2丁目5番8号	工期	平成28年9月29日 ～ 平成29年2月28日
		受注金額	12,366 千円
選定理由	<p>本業務は、新潟港(西港地区)航路泊地整備事業において発生する浚渫土砂の処分場として、新潟空港沖に計画している航路泊地付帯施設護岸へ、浚渫土砂を排送するための排砂管設置にかかる実施設計を行う業務である。</p> <p>排砂管設置ルートは既設構造物及び障害物などの各箇所毎の制約条件に応じた配置や仮設方法を検討した。</p> <p>本技術者は浚渫工事施工者へヒアリングを行い現地で手戻りのない適切な方法を設計に反映するとともに、複雑な排砂管の設置構造の取り回しに当たっては3D図面を活用するなど、先進技術を取り入れて成果をとりまとめた。</p>		